



夏の暑さにも負ケズ、中川に出動しました！ 出張おそうじ隊

7月15日(日)今年度初めての中川ポンプ場周辺のごみの回収と分別計量作業を行いました。午前中は慶進高校ふるさと手伝い隊の8名、先生1名、学習館利用者3名とUKC関係者8名の20名が参加しました。

午後は4時過ぎからの低潮時、日頃取り切れない中川寄りのヨシ原を中心に2名が出てゴミを回収しました。分別計量は、分類方法が判然としないところもあり、難しい作業です。表に示すように午前中1916個、午後1445個。レジ袋、トレイ類、発泡PS片等が多いです。重さは泥が除ききれないですが、それぞれ、27.9、28.5kgで、ペットボトル、ガラスビン、金属缶などが多いです。

中川河口ポイ捨てごみ個数(2018.7.15)	午前	午後
アルミ缶	46	79
スチール缶	43	16
ガラスビン	23	27
ペットボトル	146	147
ポリカップ	29	22
レジ袋・プラ内袋等	170	253
お菓子の包み紙等	196	249
弁当容器・トレー	270	106
発泡スチロール片	551	280
紙製容器	32	9
その他ポリ容器	25	18
タバコ類	123	38
ボール類	38	34
生活用品・道具類	224	166
合計	1916	1444



持ち帰ったごみを分別・計量する様子

おそうじ隊参加者(中川にて)

最近マナーが悪くなっているように思います。幼少期の教育が大事です。次回は9月16日床波海岸の予定です。

浮田正夫

◆◆◆学習館開催企画のご案内◆◆◆

●ESD研修会(申し込み不要)

第2回「地域による学校支援に期待すること」

講師：野口政吾氏(宇部市教育長)

とき：9月1日(土)15:00～ ところ：宇部市立図書館講座室
子ども達の生きる力を育むために、地域ができる事は？学校関係者の方々の参加を得て、地域の関心のある方と先生方の貴重な交流の機会にしたいと思います。

資料代200円 / 高校生以下無料



第3回「コミュニティスクールの有効活用上の問題点について」

講師：伊藤一統氏(宇部フロンティア大学教授)

とき：9月29日(土)15:00～ ところ：宇部市立図書館講座室
宇部市内のコミスクの活動状況および今後の課題等について紹介いただき、各校区学校運営協議会との連携をどのように進めていくべきか等について議論できればと思います。

資料代等500円/高校生以下無料



●環境サロン(今回は申し込みをお願いします) ※締切日要注意

第3回 熊本県水俣市「水俣病資料館」及び

「水俣病歴史考証館」視察会 バスツアー(1泊2日)

とき：10月9日(水)7:30発～10月10日(木)19:00予定

集合：宇部新川駅前(山産ビル前バス停)、宇部市役所前バス停

宇部インター駐車場 *いずれかの希望場所より乗車

参加費：大人15,000円、小学生以下13,000円

口定員：20名(先着順) □申込締切：9月14日(金)

公害病の原点ともいべき「水俣病」について今一度見つめる為に熊本県水俣市を訪れる視察会を開催します。詳細は宇部アイカHP(<http://www.ieca.biz/>)または「うべっくる」をご覧ください。

[宇部環境国際協力協会(宇部アイカ)共催]

▼本サロンのお問い合わせ、お申し込みは下記までお願いします。

<事務局> 宇部環境国際協力協会

宇部市中央町三丁目12-19 オフィス OHI201

TEL&FAX: 0836-36-3199 E-mail: info@ieca.biz



このマークの企画は、はつらつポイント(20才以上)、エコハ券(20才未満)進呈の対象となります。



●出張おそうじ隊(申し込みをお願いします) 無料

第3回 9月16日(日) 床波黒崎海岸

ポイ捨てを無くす為、現場で回収したごみを分別・計量してデータを蓄積しています。詳しくは下記へご連絡ください。

お問い合わせ/まちなか環境学習館

電話 0836-39-8110

いつもの

まちなかおそうじ隊

申込不要

9月30日(日) 学習館周辺や銀天街アーケード、塩田川、中川等を掃除しています。おそうじの後はお茶会でホッと学習館前集合! ひと息♪(無料)



宇部市からのお知らせ

「宇部市小水力発電設備導入事業費補助金」について

～水のエネルギー、地域で活用しませんか～

地域の河川や農業用水路に発電設備を設置する方への補助金です。発電した電気を電気柵などの農業関係設備や防犯灯に活用しませんか。

補助額:補助工事にかかる2分の1で、30万円を上限
募集期間:10月1日(月)まで

※応募には事前に相談が必要です。



お問い合わせ

◇お気軽にお問い合わせください◇

宇部市 地域エネルギー・バイオマス産業都市推進グループ 電話34-8483

宇部市環境学習ポータルサイト「うべっくる」

うべっくる

検索



<http://www.ubekuru.com>

「プラスチック製容器包装ごみが
リサイクルされるまで」

～株式会社 広島企業 宇部テクノリサイクルセンターの取り組み～

弊社は家庭から出る一般廃棄物のうち、主にプラスチック製容器包装ごみの材料リサイクルを行っています。容器包装とは、お店で購入される商品そのものを入れたり包んだりしている紙やプラスチック、ガラスびんやPET ボトルのことを指します。ここではそのうちのプラスチック製容器包装ごみのリサイクルについてご紹介していきます。



①収集されたプラスチック製容器包装ごみを光学式選別機によって材質ごとに分けます。

②その分別したプラスチックを製造ラインへと投入し、混入した砂や金属等の異物を取り除き、15mm程度まで細かくします。

③細かくしたプラスチックは水を使った選別を行い、水に浮かぶプラスチックと沈む異物に分けて、異物を取り除く選別工程を完了させます。



工場内設備



製品(ペレット)

④濡れたプラスチックを乾燥させた後、高温・高圧力の押出機で米粒大の樹脂へと形状を変え、プラスチック製品の原材料(ペレット)ができあがり、完了します。

廃棄物の資源化は、環境にとって重要な課題です。当社は地域環境保全のため、日々の業務に取り組んでまいります。

株式会社 広島企業
代表取締役 新森俊憲

うべ環境コミュニティ会員



コラム

『緑色の花の蜜を好む蜂』



新しい生息環境展示施設のときわ動物園がリニューアルオープンから4年目。新しく入った飼育員も育ち、私の仕事は飼育施設の保守、点検、園内の植物の管理、牧草畑や緑餌の採取が主な内容です。そんな仕事の中で、この8月から興味があって試している事があります。

昨年の夏から秋にかけて、園路沿いでスズメバチ、アシナガバチの巣が4カ所で発見されました。そのすべてが背丈より下で発見次第すぐに駆除しました。幸い刺された人はいなかったものの、飛ぶ姿や花や枝にとまっている姿が多く見られ殺虫剤を持って巡回駆除する事もしばしばありました。

なぜ、スズメバチとアシナガバチが多いのか、その巡回中にハチをよく観察してみると、カクレミノの樹木の花とヤブガラシの雑草の花から蜜をすっているのです。その花の色は緑色でこの植物が多く植栽されている園路沿いに巣が集中していました。

青虫を食べるアシナガバチ

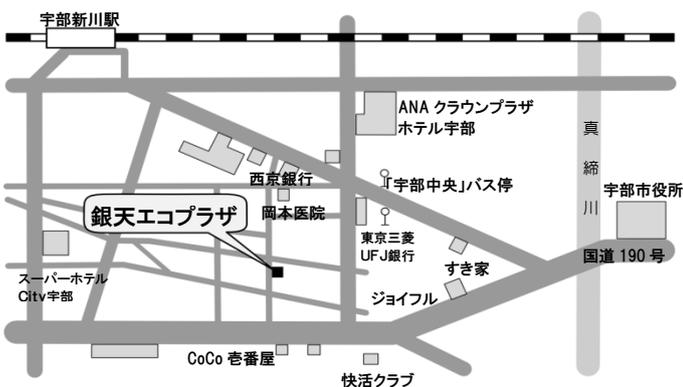


園内に植栽されているカクレミノ

そこで、今年8月からカクレミノの花芽を切り除き、ヤブガラシは根から引き抜いています。盆すぎの現在まで、ハチの姿も少なく、巣もなく効果の程は9月～10月頃の状況次第ですが…。ただ地球温暖化による異常気象で猛暑が長く続いた影響があるかも分かりません。

ともかく、殺虫剤で駆除するのではなく、来させない様にしたいものです。彼らも樹木の葉などを食べる青虫などの害虫を食べて生きています。生態系の中で生物多様性、殺生せず工夫で乗り切りたいと思っています。

ときわ動物園 白須道徳



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

◇H30.6.1よりメールアドレスが下記の通り変更になりました◇
TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～21時 HPアドレス ; <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始（12月29日～1月3日）